



才教学園小学校2年生の大塚琉翔君(8歳)へ6級の「時事通信社賞」を授与

日本語検定委員会は11月28日、今年6月に行われた平成24年度第1回日本語検定で、長野県松本市の才教学園小学校2年生の大塚琉翔君(8歳)へ6級の時事通信社賞を授与しました。

才教学園は、2004年に創設された私立学校で小学校と中学校があります。時事通信社賞は、1級から3級の認定者の中から最年長者および年長者を、また1級から7級の認定者の中から最年少者および年少者を表彰するものです。このたび、大塚琉翔君は各級の認定者の最年少者に贈られる最優秀賞を受賞しました。



大塚琉翔君に日本語検定の勉強の方法や受賞した感想を伺いました。「試験に備え、過去問題の勉強を、お父さんに見てもらいながらやりました。週に3回ほどのペースだったけど集中してやりました。試験は、そんなに難しくなかったです。最優秀賞をもらえると聞いて、まさかと思いました。でも、賞をもらって、お父さん・お母さんから『凄いね!』と褒められて凄く嬉しかったです。学校でも、みんなの前で発表してもらって緊張したけど嬉しかったので、また頑張ろうと思いました。『盾が立派で綺麗だね』と言われて嬉しかったです」

また、今後の抱負について次のように力強く話してくれました。算数も好きだけど、日本語の勉強は楽しいので、これからも、もっと勉強をして5級、4級、そして級合格まで頑張りたいです」

(文責：時事通信社 宗澤寛)

